

平成 23 年 4 月 13 日

熊本県知事
蒲島 郁夫 様

熊本県商工団体連合会
会長 緒方 幹夫
熊本市水前寺 2-17-12
TEL 096-385-2124

東日本大震災にともなう建設資材の不足についての緊急要請

震災の対応でのご奮闘に敬意を表します。

震災発生から 1 ヶ月が経過しました。東北地方だけでなく、全国でも物資、資材不足の影響が広がっています。特に、建設・土木の現場で広範な工事関係者から資材の入手困難の状況が報告されています。「資材が入らないために工事がストップした。」「材料がいつ入手できる目途がたたない。」などと言った声が増えに増えています。

「工場が被災したために生産が止まった」などのやむを得ないと思われるだけでなく、「買い占めや売り惜しみをしてる」とか、「国が出荷を止めたと聞いている」などの情報も飛び交っており現場は混乱しています。

地震、津波、福島原発事故による放射能漏れが続いていることが、より深刻にしています。風評や根拠のない情報に惑わされることなく、正しい情報にもとづき冷静に事態への対処ができるようにすることが大切です。

このような状況だけに、行政が混乱を収束させて経済活動の正常化にすることが求められます。

つきましては、以下の事項についてすみやかな対策をしていただきますように要請いたします。

(要望項目)

- 1 住宅・建築関係資材の不足について、原因を調査して障害を取り除くように対策をとること。そして、今後の供給の見通しについて情報を提供してください。
- 2 買い占め、売り惜しみについては是正の指導を速やかに行ってください。
- 3 材料が入らず仕事ができなくなっている事業者に対して、つなぎ資金として無利息のなどの独自の融資制度を速やかに創設してください。
- 4 資材が入らないことで、仕事ができずに収入の見込みがなく、金融機関への返済が滞ることが予想されます。行政として金融機関への返済の猶予や金利の引き下げを実施するように指導してください。